

プラゴミの削減（アトピッコハウス(株)）

取組の概要

一生懸命草むしりもしない、剪定した草花をゴミとして出さないことでビニール袋の削減と、剪定ゴミ処分費の軽減に貢献できている。**ずぼらガーデニング**と名付けている。



取組を始めた動機・課題

鎌倉市の**剪定ゴミ処分費用に年間3億円**がかかっていること。草花の堆肥化は早いことを知り、剪定ゴミの堆肥化を実験的に進めたところ、トラブルがないどころか**捨てる面倒さもなくなった**。この取り組みを、より多くの方に伝え実践してもらえるようにしたい。

解決に向けた具体策と成果

剪定ゴミを捨てないことによる自分たちへのメリットの認知拡大に向けて、気軽に参加できるように地域通貨利用の取り組みもしているが、思う程の成果は出ていないがリピーターが増え、スタート時よりも多少の手ごたえは感じている。

該当するSDGs目標
(3つまで)



社会福祉法人とイベントを開催（アトピッコハウス(株)）

取組の概要

サンプル作成を依頼している障害福祉サービス事業所の方に、当社に自生している“柿”の収穫を楽しんでいただきました。きっかけはサンプルを納品してもらった時に、通所者の一人が柿が好きということがわかり、ご提案させていただきました。



取組を始めた動機・課題

ただ仕事を発注するだけでなく、**お互いを理解するきっかけにしたいと考えていました**。障害福祉サービス事業所の車が、定期的に当社前に停車することで、地域に関心を持つ方が増え、そこから相乗効果ができることも期待しています。

解決に向けた具体策と成果

お互いを知ることで共生が進みます。小さなイベントですが、外部との接触、新たな経験は、通所者にとっても大きな刺激となることを知りました。**地域通貨クルップでのポイントの導入も検討しています**。

該当するSDGs目標
(3つまで)



社会福祉法人にサンプル作成を依頼（アトピッコハウス(株)）

取組の概要

サンプル作成の外注先を、一般企業から鎌倉市内の**障害福祉サービス事業所に変更**。自社商品を指定サイズにカットして当社まで納品。作業が慣れてきた時点で、依頼内容を増やしていくことも検討中。



取組を始めた動機・課題

障害福祉サービス事業所に作業を依頼できないかと模索していましたが、話が立ち消えになったり、なかなか前に進みませんでした。ご紹介いただく形で実現することができました。**障害福祉サービス事業所の多くは保守的で新しい取り組みに消極的であると感じました。**

解決に向けた具体策と成果

当社からの発注を楽しみに待っている通所者がいるので、もっと仕事を下さいと言っています。当社が成長することで、障害福祉サービス事業所に通っている方の自立支援の一助になれるように、経営を大きくしていきます。

該当するSDGs目標
(3つまで)



寄付付き保険の販売で、医療現場を支援（株式会社ウィズハート）

取組の概要

妊婦さん向け医療保険に寄付機能を付けて販売しています。

妊産婦・新生児を診る病院「神奈川県立こども医療センター」に、医療保険の新規売上額の50%を毎月寄付し、妊婦や新生児の治療現場を支援しています。



取組を始めた動機・課題

妊婦さん向け医療保険の販売を通して、切迫早産で数カ月間も入院する妊婦や、先天性疾患で生後すぐに治療を要する新生児がいることを知った。

保険の相互扶助の仕組みを活用して、この医療現場の力になりたいと思ったのが動機である。

解決に向けた具体策と成果

こども医療センターは妊産婦・新生児治療の最後の砦でありながら、治療器具や機材の確保などで経済的な課題を抱えている。

毎月の寄付によって、最新設備の導入や治療環境の充実に貢献することが出来ている。

該当するSDGs目標
(3つまで)



マイボトルへの給水でSDGsに取り組むボトルフリープロジェクト (ウォータースタンド株式会社)

取組の概要

弊社は2030年までに日本の使い捨てプラスチックボトル30億本を削減することをミッションに掲げ、この目標を実現するために「マイボトルを持ち歩く文化を創る」ことをビジョンに掲げています。神奈川県をはじめ、全国の自治体と80の使い捨てプラスチック削減に向けた協定を締結しマイボトル用給水機を設置しています。

取組を始めた動機・課題

日本国内では、年間約200億本以上のボトル入り飲料水が生産され、そのうち10%程度のボトル容器がリサイクルされていません。私たちの身の回りには使い捨てのものがたくさんあります。弊社は消費プロセスを見直し、ライフスタイル転換につながる提案をしたいと考え、本取り組みをスタートしました。

解決に向けた具体策と成果

全国の自治体・教育委員会との使い捨てプラスチック削減に向けた協定の下、マイボトル用給水機を2023年9月末現在、2,558台設置しています。神奈川県葉山町では、町庁舎から排出するペットボトルゴミが94%削減されたそうです。



該当するSDGs目標
(3つまで)



ウェイストマネジメント事業 WOOMS（小田急電鉄）

取組の概要

「Beyond Waste –ごみのない世界へ–」を事業ビジョンに2021年に始動。循環型社会実現に向けて重要な役割を果たすインフラである収集運搬の最適化をサポートする。自治体が所管する家庭ごみの収集運搬をテクノロジーを活用し可視化・最適化。創出されたバッファを活用し、ごみ減量施策に繋げていく。

取組を始めた動機・課題

循環型社会実現に向けて資源を運搬する**静脈物流は、大きな役割を果たす一方で、人手不足が顕在化してきている**。インフラ企業であり、運輸においてノウハウを培ってきた当社が、収集運搬の最適化にむけて果たす役割があるのではと考えたため。

解決に向けた具体策と成果

実証実験を実施した神奈川県座間市（2022年度本導入）では、収集職員がデータの活用により収集運搬における余力を創出。創出された余力について、システムを活用した「剪定枝」の新たなリサイクル手法を導入し、ごみ減量に繋げることが可能となった。県内他自治体における活用に向けて実証等を実施している。



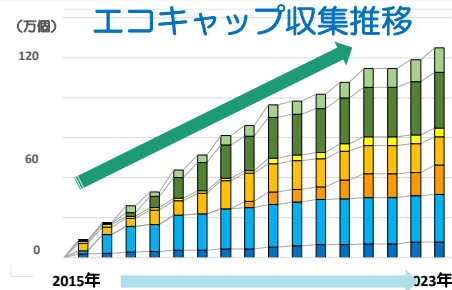
該当するSDGs目標
(3つまで)



障害者が作るアップサイクル（Upcycle）自主製品『エコマグネット』の創出と販売推進（認定NPO法人小田原なぎさ会）

取組の概要

運営施設に通所する利用者(障害者)たちが自主活動として継続的に取組んでいる**エコキャップ活動**では、現在までに120万個超の収集(ポリワケン換算2700名分)を達成。収集したキャップの一部を活用した環境に優しい『**エコマグネット**』は、「**使用済みから、新たな価値ある製品**」を生み出すことで、自然保護と共に障害福祉の推進に寄与しています。



使用済みから、新たな価値ある製品へ！

取組を始めた動機・課題

通所する障害者たちが一つでも成功を体験することで「**自信**」につながるのではないかとこの思いから、「**私達も誰かを支援できる!!**」を合言葉に、自主活動として2015年から開始した**エコキャップ活動**。そんな中、コロナ禍に突入して、**施設での受託作業が激減**。障害者たちの**作業と工賃確保が最大の課題**に!!!

解決に向けた具体策と成果

この状況打破に向け創出したのが『**エコマグネット**』。この3年間で6000個以上の製作・販売を達成!!!
コロナ禍での作業を確保すると共に、SDGsに深くつながる製品(**共生社会実現・自然保護・ワクチン支援等**)として多くの共感と応援をいただき、持続可能な活動に成長した。更に認知度を高め、販売拡大を目指す。

該当するSDGs目標
(3つまで)



ダイバーシティ・多様な人材の活用について (株式会社オープンアップウィズ)

取組の概要

- ⑤ 私たちは女性・男性の区別をすることなく全ての従業員は平等であり、『個々人それぞれが個性を發揮して、「一緒に幸せになろう!』という企業理念のもと働きがい創造していきます。
- ⑧ 特例子会社である私たちは障がい者を雇用し、生産的な仕事を通じて経済活動に貢献していきます。
- ⑫ 紙のリサイクルを推進し環境保全に貢献します。

取組を始めた動機・課題

障がい者雇用を通じて、働く場の提供、個人が尊重されそれぞれの個性を輝かせ、ともに幸せになることが実現できる会社であり続けたいため、SDGsへの取組みに参画いたしました。

「紙」のリサイクル

機密情報の管理～SDGsの再生リサイクル(回収から再生まで)



解決に向けた具体策と成果

性差・障がいの有無に関係なく活躍できる職場づくり、ライフステージに応じた支援制度、生産的な雇用の継続、ワークライフバランスの実現、水資源を大切に、環境を汚さない排水を行なっています、環境保護のためのアーティフィシアルフラワー

該当するSDGs目標
(3つまで)



まちを守る建設業の担い手不足へチャレンジ（神奈川県建設業協会）

取組の概要

建設系工業高校、1校当たり4頁にわたる紹介記事と建設業の分かりやすい説明、さらに保護者へのアピール記事を加えた冊子「ザ・マイスター」を工業高校と共同で作成した。各工業高校が中学校向けに行う説明会で使用していただくともに、県内全中学約400校の校長先生、進路指導教諭あて配布を行った。



取組を始めた動機・課題

建設業は担い手不足で、この状況が続けば行政と締結している災害協定の履行も困難になる可能性がある。近年、業界に多くの人材を輩出している工業高校の入学者が右肩下がり、この状況を看過すると工業高校の存続や業界の継続的発展への危機感が高まっている。

解決に向けた具体策と成果

中学校の進路指導教諭の関心を引くように、活躍する在校生の紹介頁に卒業中学校名を記載したり、建設のおもしろさ、収入、仕事内容などの説明をイラスト入りで分かりやすくし、進路指導の中で「建設業」も視野にしていただけるように工夫した。成果は今後だが、受験者・入学者数の増加を期待している。

該当するSDGs目標
(3つまで)



経営の専門家としてSDGsに取り組む中小企業を支援 (一般社団法人神奈川県中小企業診断協会)

取組の概要

私たちは**経営の専門家**として、中小企業の皆様に向けて以下の経営支援を行っています。

- SDGsセミナー・先進事例集の作成による啓蒙
- SDGs個別相談による経営診断・助言
- 持続可能な企業経営のためのBCP計画策定支援等



取組を始めた動機・課題

【**動機**】神奈川県中小企業診断協会では、様々な「公益に資する事業」の活動を行っています。中小企業では、折角SDGs活動を経営に取り組んでいても、うまくPRできていない、業績向上に結び付いていないという問題を感じていました。

【**課題**】協会活動をより多くの中小企業の皆様に知っていただくことが課題です

解決に向けた具体策と成果

【1年間の実績】

- 「SDGs ことはじめ」セミナーの開催（5回）
- 個者支援1社
- 先進事例集作成15社
- 神奈川SDGsパートナー実態調査報告書公表
- BCP策定支援20社等

該当するSDGs目標
(3つまで)



SDGsを経営戦略に！かなしんSDGsソリューションローン (かながわ信用金庫)

取組の概要

「かなしんSDGsソリューションローン」は、事業性評価に将来を見据えたSDGsの観点を取り入れ、課題解決をサポートします。

取組を始めた動機・課題

事業性評価は、企業の事業内容や成長可能性などを評価し、成長を支援する取組であり、事業性評価から得られた課題に対し、SDGsを経営戦略に取込むことで、ビジネスチャンスの見極め・企業価値の向上・ステークホルダーとの関係強化を図ります。

解決に向けた具体策と成果

「かなしんSDGsソリューションローン」は、ローカルベンチマークを使用して、商流・業務フローや非財務情報等から経営課題を抽出し、抽出された課題解決に向け、SDGsの観点を取り入れた事業計画書の作成をサポートします。事業計画書の作成にあたり、SDGs17の目標と169のターゲットを使用して、当金庫の職員がサポートします。



該当するSDGs目標
(3つまで)



SDGs経営をサポート！『かなしんSDGsプラットフォーム』 (かながわ信用金庫)

取組の概要

かなしんSDGsプラットフォームは、SDGsを経営に取り込むノウハウを提供します。

- メニュー1 「かなしんSDGs対応度診断プラン」
- メニュー2 「かなしんSDGs宣言書作成支援プラン」
- メニュー3 「かなしんSDGs事業計画作成支援プラン」

取組を始めた動機・課題

当金庫は、SDGs経営の推進に向けた「かながわ版SDGs金融フレームワーク」において、「SDGs社会的インパクト評価実証事業」「SDGs中小企業伴走型支援」に取り組まれました。その中で培ったSDGsに貢献する取組について、地域事業者の方へのSDGsの啓蒙・普及促進をサポートし、地域にSDGsが根付く環境整備を伴走支援いたします。

解決に向けた具体策と成果

かなしんSDGsプラットフォームは、企業がSDGsを理解し自分ごととして取り組むために、当金庫の職員が目標設定の作成をサポートし、取引先や顧客などのステークホルダーや、自社従業員など社内での対話にも活用できる内容としております。



該当するSDGs目標
(3つまで)



かなしん観光活性化モデル形成事業の取組（かながわ信用金庫）

取組の概要

地元の観光資源を活かした観光活性化モデル形成事業

- ①かなしんデジタル観光サイトの作成
- ②観光プロモーション動画の作成
- ③横須賀おみやげプロジェクト実施
- ④社会的インパクトマネジメントを活用した観光事業ロジックモデルの作成

取組を始めた動機・課題

地元の観光資源を活用し、地域活性化の流れを創出する地方創生支援スキームとして観光活性化モデルを形成。観光だけでなく、地域課題である人口減少に対する課題解決や地域経済の活性化に向け伴走し、SDGsへの貢献とサステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）に向け、地域の「環境」「文化」「経済」を守り・育みます。

解決に向けた具体策と成果

デジタル観光サイトは、地元事業者のデジタルコンテンツの醸成に繋がりました。プロモーション動画は観光サイトに連動し、「Active」と「Food」を楽しむ一泊二日旅行をイメージ。お土産プロジェクトは、芥川龍之介の小説「蜜柑」をテーマに、地元の専門学校と製菓業者と連携し、地元素材を活かし可愛らしさ・気品を備えた新食感の和モダンスイーツの創作につながりました。



横須賀おみやげプロジェクト

かながわ信用金庫
かなしん

スケジュール

- ・学生コンテスト 18レシピ応募
- ・表彰式（最優秀賞・優秀賞・アイデア賞他）
- ※開催 12/15
- ※優勝者は、お土産作りに参加
- ・お菓子製作
- ①顔合わせ（表彰式）
- ②初回ミーティング
- ③試作開始 3月～
- ④完成 12月頃予定
- ・特別表彰（表彰者の紹介・商品紹介）

社会的インパクトマネジメントを活用した観光事業のロジックモデル作成

かながわ信用金庫
かなしん

社会的インパクトマネジメントを活用した観光事業のロジックモデル

活動	結果（アウトプット）	強化（アウトカム）	成果（インパクト）
かなしんデジタル観光サイト	企業がデジタル認知度を向上させる	売上・顧客数向上 （客単価・リピート）	企業収益向上 （客単価・リピート）
横須賀観光プロモーション動画	市内観光ポイント認知度を向上させる	観光客の誘致 （客単価・リピート）	観光客の誘致 （客単価・リピート）
横須賀おみやげプロジェクト	イベント開催が促進される	観光客の誘致 （客単価・リピート）	観光客の誘致 （客単価・リピート）
「Food」の連携	観光客による消費の促進が図られる	観光客の誘致 （客単価・リピート）	観光客の誘致 （客単価・リピート）
社会的インパクトマネジメントの活用	SDGs達成に向けた事業展開が促進される	観光客の誘致 （客単価・リピート）	観光客の誘致 （客単価・リピート）

↓

地域経済が活性化し
地域が豊かになる

該当するSDGs目標
(3つまで)



リユース容器シェアリングサービスMegloo（株式会社カマン）

取組の概要

Meglooは地域共通のリユース容器をみんなでシェアすることで、テイクアウト時の使い捨て容器やCO2排出量を削減します。

スマホで簡単に借りられ、返却場所是对応店舗どこでもOK。



取組を始めた動機・課題

- ・使い捨てプラごみの増加
- ・テイクアウト/デリバリー需要の増加
- ・シェアリングエコノミーの普及
- ・環境意識への高まり

解決に向けた具体策と成果

2021年10月から鎌倉で開始。全国8都市で展開。神奈川ではダイナボアーズ、ビー・コルセアーズ、県庁などキッチンカーでも実証実験実施。12,000個以上利用され、0.3tのプラごみ削減、1.5tのCO2削減が達成された。

該当するSDGs目標
(3つまで)



アップサイクル再生紙「クラフトビールペーパー」 (株式会社kitafuku)

取組の概要

クラフトビールの醸造過程で発生する**モルト粕**をアップサイクルした再生紙「クラフトビールペーパー」の開発、販売。主に神奈川県ブルワリーからモルト粕を回収し、お客様のニーズに合わせた紙製品の開発と販売を行っている。神奈川県内の飲食店、商業施設での利用や子ども向けのSDGs普及イベントなどで幅広く活用いただいている。



取組を始めた動機・課題

神奈川県は、全国で2番目にクラフトビールのブルワリーが多いと言われている。一度のビール製造に約300kgのモルト粕を排出することもあり、この大量の副産物を課題に感じているブルワリーも多い。ビールを楽しむお客様の手に届く製品に出来ないかと、製紙技術を持つパートナー企業と連携し、開発を行った。

解決に向けた具体策と成果

具体策：クラフトビールの醸造過程で発生するモルト粕を再利用して紙を製造し、アップサイクルする。

成果：これまでに回収したモルト粕は累計で1400kgを突破。主に県内の企業や飲食店で、ギフトボックスやメニュー表などに活用されている。導入社数は約60社。手軽に取り入れられる名刺が特に好評となっている。

該当するSDGs目標
(3つまで)



地球にも人にも優しいきもちグッズ（Kimoti ～Quality of Life Counseling～）

取組の概要

「療育・知育グッズ」、「SDGs商品」、「Reuse品」、「オリジナルグッズ」のECサイトによる販売を通じて、収益の一部を心臓病を患う子供たちを救うために設立された『あけみちゃん基金』に寄付する取組み。

取組を始めた動機・課題

我が子が心疾患で生まれたことを機に、未来ある子どもたちの為に身近に出来る事から取組みたい思いがあった。また、日々メンタルヘルス相談を受ける中で、育児に関するお悩みが多い事を実感し、少しでもQOLを向上できる一助になればとの思いから始めた。

解決に向けた具体策と成果

専門家監修の元、障害のある我が子でもモニタリングを重ねながらお家でも気軽に取組める療育グッズを作成することで、事情があって療育に通えないご家庭等でも気軽にお試し頂ける仕組みを作った。**購買→社会貢献→QOL向上のサイクル**に繋がっている。

The screenshot shows the Kimoti website interface. At the top, it says "Kimoti ～子育て&療育グッズ・サステナブルグッズ・オリジナルグッズ販売～". Below this are navigation links: HOME, CATEGORY, ABOUT, ITEM, SALE. A search bar is present with "おすすめ" and "すべて" buttons. The main content area displays four product categories: "NEW" (two items), "HOT" (two items), and a "寄付のご報告" (Donation Report) section. The donation report features a heart icon and the text "あけみちゃん基金 SINCE 1966".

該当するSDGs目標
(3つまで)



Cycle Messenger World Championships (CMWC) の開催 (有限会社クリオシティ/CMWC 2023 Yokohama実行委員会)

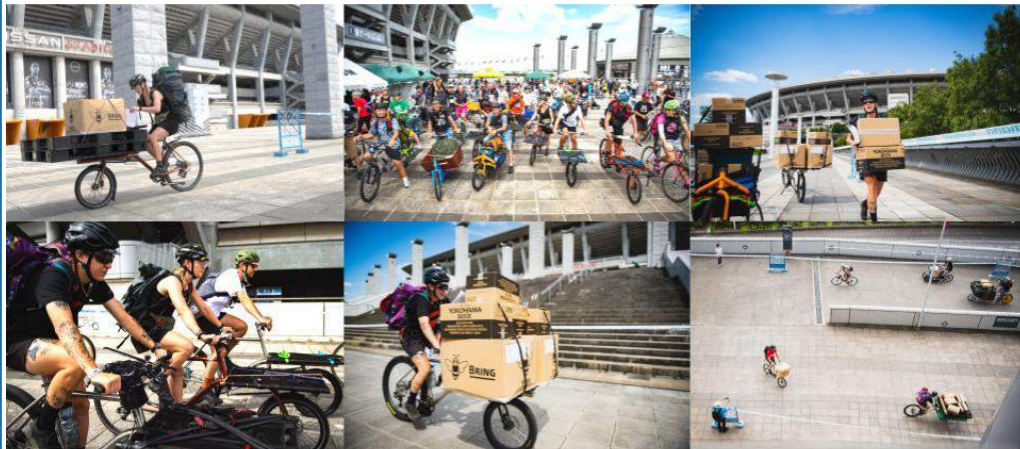
取組の概要

自転車便の世界大会（通称：**CMWC**）を国内各事業者協力の下、実行委員会を結成し、世界中の自転車便事業者とコミュニティへの労いと共に**脱炭素配送事業としての有益性、持続可能性**について社会認知を広げるための取組。また**防災の観点からもカーゴバイクの有用性**を可視化した。

取組を始めた動機・課題

世界の配送分野での自転車利用において、国内では逆行し自転車便事業者が数を減らしている現状へ警鐘を鳴らし、ガソリン車、化石燃料を電力源とするEV車ではなくカーゴバイク（軽貨物運搬自転車）を主軸とした都市特化型配送網を構築する変革性が求められる。

カーゴバイクレースの様相@日産スタジアム



解決に向けた具体策と成果

再生可能エネルギーの発展を待たずして**直ちに置き換えられる持続可能な配送手段**を示した。また大会の魅力から**自転車便事業を職業にしたい**という人々が増加したことによる**働きがいの観点**、**防災でのカーゴバイクの必要性**として**まちづくりの観点**からも注目されるコンテンツとして反響を得ている。

該当するSDGs目標



かわさきブランド20周年 X かわさき・かながわSDGs ローカルイベント (有限会社グリーンフーズあつみ・おつけもの慶)

取組の概要

自社の創業20周年を機に、地産地消商品の紹介や世代を超えて地域に根付く持続可能な社会づくり、地域産業の活性と継続性のある発展を目指した社会貢献に結びつけることができるイベントの展開を計画。

- ・実施期日：11月17日～20日／4日間
- ・場所：川崎アゼリアサンライト広場（中央広場）

取組を始めた動機・課題

創業祭を開催するために借りた場所の規模が大きく、自社だけのイベントではもったいないといったことから、当社だけのイベントだけでなく地元の連携イベントとして展開できるよう計画し、地元事業者や各自治体関係部署へイベント開催の連携に関する情報を公開、打診。

解決に向けた具体策と成果

地元代表の「川崎ものづくりブランド」20周年との合同開催が実現。更に川崎の職人「かわさきマイスター」紹介や地元高校生考案商品コンテスト、地産地消をテーマに、JAよこすか葉山農産物直売所や川崎、神奈川を代表する事業者の協力出店、地域自治体情報展示や資料配架コーナー等、様々な連携を含むイベントが実現。



該当するSDGs目標
(3つまで)



フードドライブ活動（KDDI株式会社）

取組の概要

- ・ 事務所内にて、社内の従業員による活動
- ・ 入居するビル共有スペースにて、他企業へのお声掛けによる活動
- ・ ウクライナ避難者への支援活動

取組を始めた動機・課題

- ・ 食にお困りの方の支援として。
- ・ 社員の社会貢献活動として。
- ・ 社員のSDGsに繋がる意識向上のため。

解決に向けた具体策と成果

提供された食品は、「フードバンクかながわ」へ寄贈し食にお困りの方へお届け頂いた。

横浜市のウクライナ交流拠点「ドゥルーズィ」への寄贈等



該当するSDGs目標
(3つまで)



災害時の避難所支援および実施訓練（KDDI株式会社）

取組の概要

災害時に開設される避難所にて、避難者の支援を実施

- ・ スマホ用充電ステーションの供用
- ・ 災害時用無料Wi-Fi機器の開設
- ・ 自治体が発行している防災訓練に参加



取組を始めた動機・課題

【動機】

- ・ 令和元年房総半島台風において、箱根町の避難所にてスマートフォンが使用できない方のために、充電器やWi-Fi機器の貸し出しを実施したこと

【課題】 防災意識を高めるための啓蒙活動の進め方

解決に向けた具体策と成果

【具体策】

- ・ 自治体主催の防災訓練に参加し、自治体の方や参加者の方に対し、KDDIの防災に対する取組みを実演した

【成果】

- ・ 防災訓練参加者の防災意識の向上が図れた

該当するSDGs目標
(3つまで)



従業員向け健康増進セミナー（KDDI株式会社）

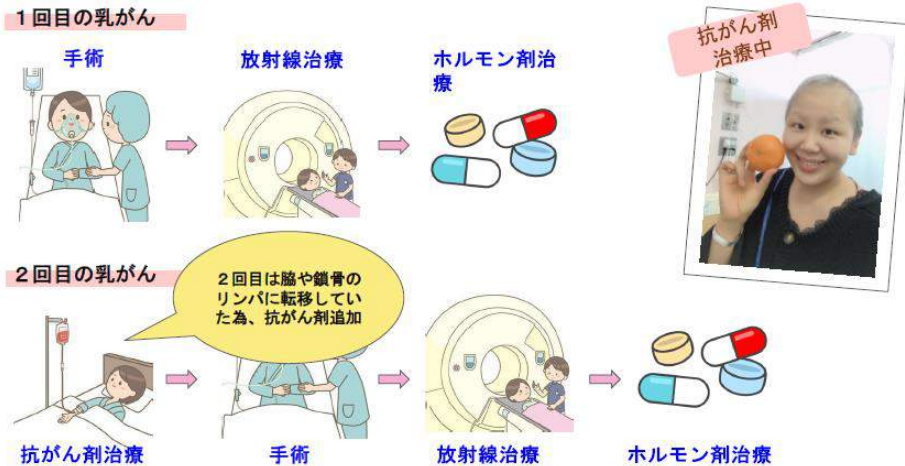
取組の概要

「社員の心身の健康と幸福の実現」のため、誰もが生き生きと働けることを目指し、年2回健康増進セミナーを実施しています。
自身の健康状態を意識するきっかけづくりの一助となるよう興味を持ってもらえるセミナーを企画しています。

取組を始めた動機・課題

女性のがん罹患1位が、乳がんです。
9人に1人は罹患し、早期発見・早期治療についての重要性を毎年従業員の皆さんにセミナーを通してお伝えしています。
講師：一般社団法人乳がん予防医学推進協会
（セミナー監修 かなこレディースクリニック）

私の場合の治療



解決に向けた具体策と成果

がんサバイバーの方に体験を語って頂くことで、検診の重要性や症状・治療、術後の仕事復帰の事を知る貴重な機会となりました。
日々多忙の中、検診に足が遠のいていた従業員もセミナーが足掛かりとなり、乳がん・子宮頸がん検診の受診率向上に繋がっております。

該当するSDGs目標
(3つまで)



スマホ防災実践講座（KDDI株式会社）

取組の概要

スマートフォンで災害時に備える

- ・ 「災害用伝言板」の実践
- ・ 無料公衆Wi-Fi(00000JAPAN)を知る
- ・ 災害時に役立つアプリを使う



取組を始めた動機・課題

主催：藤沢市デジタル推進室 講師：KDDI株式会社
テーマ：デジタルデバイド解消に向けて
普段自分が使っているスマートフォンで災害時に備えておくことが重要
(自分のスマートフォンで活用度・理解度向上を)

解決に向けた具体策と成果

普段使いのスマートフォンでの講座としたが
機種が多様であり
操作方法の確認など事前準備に苦労した

成果：自分のスマートフォンで災害に備えられた

該当するSDGs目標
(3つまで)



スマホ分解教室（KDDI株式会社）

取組の概要

KDDIによるスマホの材料リサイクルやSDGsを学びながら、スマホの分解体験ができる教室を開催



取組を始めた動機・課題

「リサイクルって何だろう？」「そして自分たちができることはなんだろう？」と子供たちが関心を持って考え、主体的に行動するきっかけを創ること。

解決に向けた具体策と成果

リサイクルの重要性や方法を伝えることで、資源の有効利用やCO2排出抑制への繋がり、地球環境を守ることにについて考える機会を創出。KDDIの取り組みを通じて、レアメタルの有効利用、障がい者雇用、世界の子供を過重労働から守ることに繋がることを学び、多方面からSDGsを考えるきっかけにもなっている。

該当するSDGs目標
(3つまで)



「誰一人取り残さないことが我々の使命」視覚障がい者のための スマホ教室、定期開催スタート（KDDI株式会社 南関東総支社）

取組の概要

視力に困っている方々が日常生活における「情報の取得」「コミュニケーション」「移動」などの困難を、スマホがサポートすることや液晶画面を見なくても使えることを知り、参加者が抵抗感なく利用でき、豊かな生活への希望やワクワク感を持つことができるような楽しく学べる教室を開催しています。

取組を始めた動機・課題

点字図書館からスマホ教室の開催要望を受け取りましたが、KDDIではこれまでそのような取り組みの経験がありませんでした。そこで、視力に困っている方々に意見を求め、一から取り組みを進めました。
神奈川からスタートした弊社の「視覚障がい者のためのスマホ教室」は、今や全国に広まりを見せています。

解決に向けた具体策と成果

自治体と連携し、広報活動を行い定期的に教室の参加者を募集しています。デジタルデバイド解消は元より、何よりも参加者からの反響が大きく「以前は孤立感を感じていたが、社会活動が可能になった」「使えないと思っていたが、便利で楽しいツールだと知った」という声など喜びに溢れた笑顔が広がっています。

「小さな声から笑顔の未来をひらく」
誰も置き去りにしない・デジタルデバイド解消・障がい者向け防災対策

- 意見交換会
- 実証開催
- マニュアル作成

スマホ教室 定期開催

スマホ利活用 自立支援



該当するSDGs目標
(3つまで)



プラごみ削減アイテム（株式会社コア・エレクトロニックシステム）

取組の概要

環境省の「プラスチック・スマート」登録企業並びに神奈川県「かながわプラごみゼロ宣言」登録企業として、ノベルティをプラごみ削減アイテムにすることとし、これまでエコバック及びエコボトルを作製して参りました。今年度は環境に配慮したバンブー素材を使用したカトラリー3点セットです。



取組を始めた動機・課題

令和元年に「かながわプラごみゼロ宣言」に登録したのが切っ掛けです。メイドインつづき推進事業の参加企業として、テクニカルショウヨコハマにブースを出して、来店者にノベルティを配布していました。2020年度には神奈川県福祉子どもみらい局殿とも連携したエコバックを作成したりしています。

解決に向けた具体策と成果

エコバック及びエコボトルを作成してきて、プラごみ削減アイテムとしても貰って喜ばれる物にということで、少しネタ切れ状態でしたが、プラスチック資源循環促進法の施行で、使い捨てプラ製スプーンやフォークなど有料化・廃止等から、繰り返し使える環境にも優しいマイ・カトラリーが選ばれました。

該当するSDGs目標
(3つまで)



誰でも扱える、3歳から分かる無償のSDGs紙芝居（こどものまち株式会社）

取組の概要

三つ子の魂百まで、幼い子どもがSDGsを知るために誰もが容易に読める紙芝居を3本制作。教育本として製本販売せずに、こどものまち株式会社のHPで無償で公開。お金をかけずに誰もがSDGs教育にアクセスでき、必要な数だけ資源の無駄なく発行できる。現在、関東、関西、東北、東海と全国で読まれている。



取組を始めた動機・課題

未来の行動は幼い頃の教育が原体験となります。三つ子の魂百までという通り、保育園がSDGsの達成に果たすべき役割は非常に大きいと言えます。SDGsの教育本を購入するにもお金がかかり、難易度も幼児向けが少ないことから、自ら制作し自社HPで発信しています。

解決に向けた具体策と成果

現在、SDGs紙芝居が自治体、保育園様々な場所で読まれている背景には、保育現場でのSDGs研修がほとんどないことが要因だと分析しています。保育士自体も通常の本読みのスキルを活かして簡単にSDGs教育を実施できる。「子どもたちにスッと落とし込める」、これが全国で読まれるようになった理由です。

該当するSDGs目標
(3つまで)



UP COFFEE CHALLENGE（株式会社コル）

取組の概要

コーヒー産業をゼロ・ウェイストに！

“コーヒーチェリーの果皮”や、“抽出後のコーヒー豆かす”などの、サプライチェーンの中で捨てられているものを、共創でアップサイクルすることに取り組んでいます。



UP COFFEE
UP COFFEE CHALLENGE
アップサイクルでコーヒーをゼロ・ウェイストに

コーヒー産業をゼロ・ウェイストに
コーヒーかす（コーヒーグラウンス）を始め、サプライチェーンの中で捨てられているものをアップサイクルすることで、コーヒー産業のゼロ・ウェイスト化を目指します。

“カスカラ”で生産者の収入を向上
生産国で大部分が捨てられているコーヒーチェリーの果皮（カスカラ）を有効活用することで、環境汚染につながっているゴミをなくすと同時に、生産者の収入向上につなげていきます。



取組を始めた動機・課題

気候変動の影響で将来はコーヒーが気軽に飲めなくなる可能性があること（コーヒーの2050年問題）。生産国で大部分が捨てられているコーヒーチェリーの果皮を有効活用することで、環境汚染につながっているゴミをなくすと同時に、生産者の収入向上につなげたいと考えたこと。

解決に向けた具体策と成果

- ①発酵コーヒーかすを大豆に練り込んだチップス開発
- ②コーヒー果皮と国産規格外ドライフルーツと組み合わせたフルーツティー開発
- ③コーヒーかす染め鍋敷きミトンとブックカバー開発
- ④③の染色後に残ったコーヒーかすを熱圧縮技術でコースターとカトラリーレスト開発

該当するSDGs目標
(3つまで)



「かながわSDGsパートナー」マッチング企業と連携して農業理解促進 （さがみ農業協同組合）

取組の概要

「かながわSDGsパートナー」で企業間マッチングしている、マルイファミリー海老名のSDGsイベントに参加。「遊びの場」「学びの場」の2つの体験型企画を通して、消費者に「農畜産物の適正価格購入」「地産地消」「国消国産」などを呼び掛け、農業理解促進を図りました。

SDGsの時代に、日本の農畜産物が持続可能な価格で売られていないのはなぜだろう。



取組を始めた動機・課題

激変する世界情勢。様々なものが値上がりする中、農業生産資材の高騰と上がらない農畜産物の価格の板挟みで、生産者は苦境に立たされています。食料自給率は38%まで低迷。農業従事者は、年6万人のペースで減少しています。農畜産物の適正な価格をみんなで考え、農家を守らないといけません。

解決に向けた具体策と成果

ポスターや動画などの学習資材を使い、クイズ形式で楽しく理解を深めてもらいました。2企画で延べ501名参加。55%から「地元野菜の大ファンです」「ごはんがおいしいと笑顔になれます。農家の方々にありがとうと伝えたい」など心温まるたくさんの「農家への応援メッセージ」を得られ、農業理解につなげました。

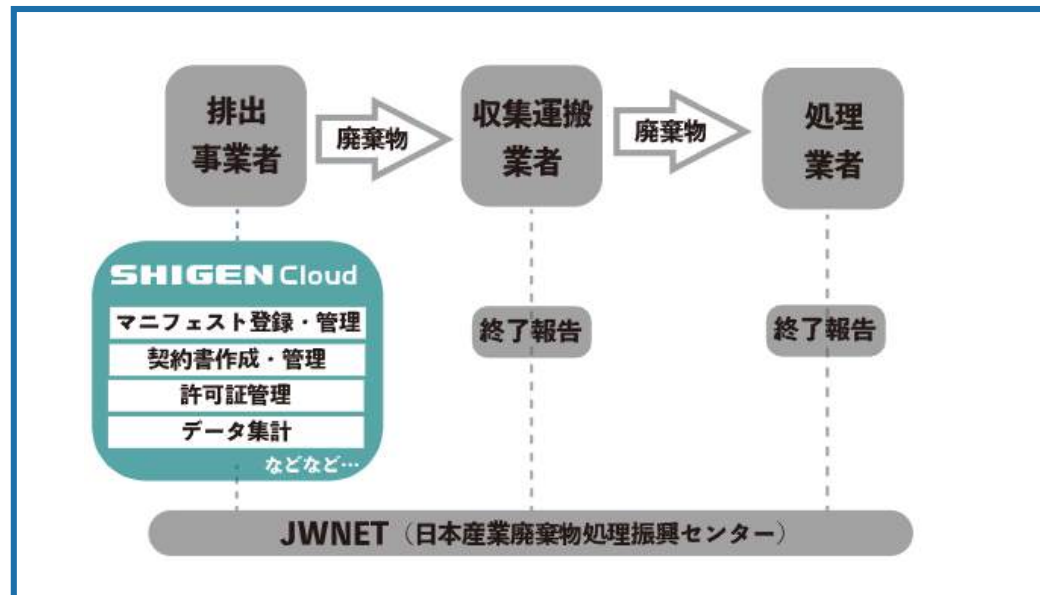
該当するSDGs目標
(3つまで)



複雑な産業廃棄物の管理を誰でも簡単に！（株式会社シゲン）

取組の概要

産業廃棄物を排出する業者（排出事業者）は廃棄物を処理する際、最終処分が完了するまでの一連の工程が適正に行われる事を確認するために「マニフェスト（紙か電子）」を発行・管理する事が法で定められています。その管理が業者任せになってしまっていたり、電子化が進まないのが現状でした。



取組を始めた動機・課題

弊社は、廃棄物処理業者として排出事業者の一番近い距離におり、排出事業者自身で簡単に廃棄物管理ができるものはないかと考え、シゲンクラウドを開発いたしました。シゲンクラウドは、不法投棄や不適正な処理による環境汚染を未然に防止し、持続可能な社会に貢献できるクラウドシステムです。

解決に向けた具体策と成果

排出事業者自身で産業廃棄物の管理ができる事により、自社で排出した廃棄物の種類や量などを可視化でき、業務効率が90%向上。排出事業者責任を果たす事が可能になりました。簡単に産業廃棄物の管理ができるようになった事により、電子化へのハードルが下がり普及率が上がっております。

該当するSDGs目標
(3つまで)

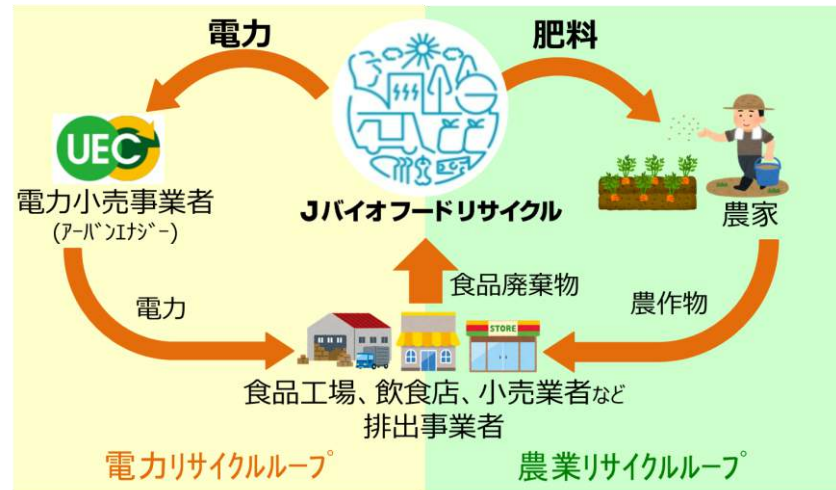


食品ごみを電気と肥料にリサイクル！ ((株)Jバイオフードリサイクル)

取組の概要

食品廃棄物から微生物の力（メタン発酵）でバイオガスを生み出し、発電に利用し**再エネ電気**を創出します。さらに発酵残渣は**肥料**になり、農地で利用されています。排出事業者**に電気と肥料**でできた作物を提供する『**ダブルリサイクルループ**』を通じて、環境負荷低減、循環型社会に貢献できます。

■ダブルリサイクルループ



取組を始めた動機・課題

スーパー、コンビニ、レストラン等から出る食品廃棄物は容器やはしなどの異物が多く、分別の手間がかかるため飼料化・肥料化には不向きとされ焼却処理されてきました。**「容器包装プラ等の異物が混在する食品廃棄物」もそのまま受入れ**処理できる、食品リサイクル（メタン化）に着手しました。

解決に向けた具体策と成果

- ▶食品リサイクル率UPに貢献 (排出事業者350社)
- ▶食品ごみから再エネ電気を創出 (一般家庭5,700世帯分)
- ▶CO2排出量削減効果 約7,700t／年
- ▶ダブルリサイクルループの構築により**地域循環共生圏**を創造

該当するSDGs目標
(3つまで)



幸せな子どもから幸せな社会を創る (株式会社SCOPS)

取組の概要

EQスクール(学童サービス)の社会プログラムとして「SDGs」を導入しています。以下4つを合言葉に「子どもの権利」や「みんな違ってみんないい」など人権の尊重を土台に、17の目標を座学だけでなく体験を通して、考えを共有したり、協力するなど心の力を育てています。

EQスクール SDGs

- ・「じぶん」をだいすきになる!
- ・「できた」をふやす!
- ・じぶんの「かんがえ」をつたえる!
- ・「みんな」ではなしあう!



取組を始めた動機・課題

「自分らしく、相手もその子らしく」をみんなで受け入れられる空間作りや、主体性を尊重し合うことで、身近な社会問題も「自分ごと」として捉えられたらと思います、SDGsプログラムを始めました。

今後、地域や社会と共創できる経験も取り入れていけたらと思っています。

解決に向けた具体策と成果

座学では、分かりやすく絵本から導入したり、ゲームや体験から、物事を考えられるよう構成しています。10月～の取り組みでは「15、陸の豊かさを守ろう」から近隣の公園でどんぐり拾いをし、どんぐり銀行に送るプログラムを実施しました。

該当するSDGs目標
(3つまで)



CO₂ポンプによりグリーンカーボンをつくる！ (スパイスキューブ株式会社)

取組の概要

グランピング型植物工場を設置することで、屋外空間からCO₂を吸収して酸素を作り出すグリーンカーボンを生成する取り組みをしています。室内に野菜を育てる溶液循環装置を設置しており、吸収したCO₂を酸素に変える野菜の光合成に利用することでカーボンニュートラルに貢献します。



取組を始めた動機・課題

弊社は植物工場を運営しており、この技術をカーボンニュートラルに利用できないかと考えた為。プロダクトを具現化させる為の材料を検討中である事。

解決に向けた具体策と成果

現在、グランピング型植物工場プロトタイプを試験運用中。グリーンカーボン生成環境の施工性や生産効率の検証をしています。

該当するSDGs目標
(3つまで)



エコキャップ活動と廃プラゴミ袋使用（株式会社清光社）

取組の概要

弊社が清掃管理を行っているビルでの、ゴミ袋を廃プラ99%から製造している「FUROSHIKI」を採用し、今まで、分別していなかったペットボトルを3分別（ボトル、キャップ、ラベル）収集を開始した。地域の障害者支援施設に回収依頼、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本員会(JOV)」へ寄付



取組を始めた動機・課題

かながわプラごみゼロ宣言を行い、普段何気なく捨てているゴミに着目し、弊社が清掃管理しているビルでのビルオーナー、利用者に協力を求めた。かながわプラごみゼロ宣言で頂いたステッカーに3分別を印字し各ゴミ箱に掲示した。

解決に向けた具体策と成果

各ゴミ置場にエコキャップ専用回収箱の設置、利用者に3分別のお願い掲示と資料を作成し、配布した。利用者も分別してくれるようになった。回収実績として1年間で36kgキャップ15804個、ポリオワクチン18人分となった

該当するSDGs目標
(3つまで)



木造スタジアム研究所（西部ハウジング(株)他3法人）

取組の概要

空き家や遊休施設等の再生に、間伐材をはじめとした神奈川県産木材や竹材を活用する。改修等の過程には、親子が参加できる製材やDIY体験、再生エネルギー実験の工程を企画。遊休資産の再生を通じた木材のサプライチェーンの再構築と再生エネルギーにより、持続可能な環境保全と地域防災に取り組む。



取組を始めた動機・課題

小田原のブリの森づくりプロジェクトを知り、間伐材を使った木造スタジアム構想を立ち上げる。自然災害の一因として木材流通における川上（林業）・川中（製材）・川下（建築）の繋がりが課題であることを知る。不動産投資による循環経済と災害対策を目指す。

解決に向けた具体策と成果

木材や竹材の活用による、環境保全のみならず、天然木材等の環境効果による人とペットの心身の健康を配慮した空間づくりにも取り組む。採用した事業者により、体験学習による集客効果やオフィス環境改善による社員の定着率向上等の、収益改善を図る。結果、ESG投資を考える事業者や投資家を巻き込む。

該当するSDGs目標
(3つまで)



地域の事業者と共にサルベージデーを開催！（株式会社空をみあげて）

取組の概要

カフェスナックの顧客である地域の事業者や農家に声をかけ、各社で販売機会を逃している在庫品等を**サルベージ（蘇らせる・救出する）**イベントとして、店内で展示・販売。当日限定で、メニュー表を撤廃し時間制ビュッフェ利用にしたことで、**食材残り削減**に取組み、同時にイベントを通し地域の事業者について知る機会につながった。

取組を始めた動機・課題

カフェスナックでの飲食メニューに合わせた食材の仕入れによる食材残りを減少させ、利益率向上させることが課題。また、**在庫品**があるので展示紹介をしてほしい、という常連や、ハンドメイドを行うアルバイト従業員からの声も同時に解決できないかと考えた。

解決に向けた具体策と成果

イベントデーを決め、1か月前から協力事業者と顧客向けに告知。通常飲食メニューを撤廃し、当日限定で飲食を含む時間制での店内利用。電設会社やアパレル事業者など5社の品を、当日限定品として展示販売したことで、**通常来店客の2.5倍の方にご来店いただきました**。事業者の認知度向上と共に、**地域での小さなSDGs意識の共有**ができ、次回2回目を開催予定。

該当するSDGs目標
(3つまで)



古くて新しいにであう日！

Salvage Day

23 OCT 2023

アパレル、電機、情報発信、農業、飲食、ものづくり、日々心を込めプロを続けていることで自然と出会う ならではの品々。様々な理由で市場に出回らないけどホントは使ってほしいものたちが、顔を合わせて蘇る（サルベージ）な日です。お立ち寄りください。

協力) japan handmade little garden

【当日限定】アタレットはメニュー無し！時間制フリードリンク・フリーフード

NPO法人 まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY.

ぐりすま sparkle0519 GREEN SMILE

Little Garden japan handmade little garden

環境学習バスツアー開催（高部金属）

取組の概要

南足柄市内に通学・通園されている方を対象に、環境問題について、一側面の視点からだけでなく、多角的な視点から学ぶようスポーツと環境を掛け合わせた「環境×スポーツ 環境学習バスツアー」を開催した。

取組を始めた動機・課題

これまで小学生を中心に環境意識の醸成を目的とし実施してきたが、当イベントでは年齢層をより広げ未就学児から高校生までを対象とした。また弊社は、飲料容器のアルミ缶やスチール缶のリサイクルに取り組んでいる企業として取り扱いのない品目(プラスチック)の現状も把握し、周知することが課題であった。

解決に向けた具体策と成果

本イベントでは、産学連携してプログラムの企画をし、学年を越え(異学年との交流)、実施することで、社会性や協調性を育むとともに、スポーツ観戦(環境保全活動の見学)や大学教授の講話(クイズ形式)により、プラスチックの現状を把握し、環境問題に対する関心や理解を深めることが出来た。



該当するSDGs目標
(3つまで)



ジューススタンドでフードロス削減！（地球もわたしも元気になる合同会社）

取組の概要

規格外のフルーツを使用したジューススタンド「エコルシェスタンド」をキッチンカーで運営。
フィリピン産無農薬バナナ「バランゴンバナナ」の規格外品と横須賀関口牧場の牛乳を合わせたバナナミルクが定番商品。季節のフルーツジュースは旬の果物の規格外品を仕入れ、無添加のまま提供。



取組を始めた動機・課題

ゴミの出ないマルシェや量り売りのお店をやっていても「エコ」に関心のあるお客様は来てくださるものの、その他大勢の方には興味を持ってもらえず、「おいしいもの」でより多くの人に環境問題への気づきや関心を持ってもらえる機会を作りたいと考えました。

解決に向けた具体策と成果

9月に営業を開始し2ヶ月。
ドリンクの売り上げは800杯を超え、規格外品とされていたバナナは40.3kg、スイカ・メロン・梨などのフルーツは36.7kgを使用しました。
マイボトル持参率は18%と、ゴミ削減にも繋がっています。（マイボトル持参で30円引き）

該当するSDGs目標
(3つまで)



被災地支援を継続的に（日本製紙クレシア開成工場）

取組の概要

当工場では、地元開成町で毎年6月に行われる「あじさい祭」へ参加しその中で**被災遺児の方々への支援を目的に募金活動**をしています。

2011年から始めた「被災地を支援するための活動」は今年で12年目、今までの寄付金は183万円となりました。今後も活動を継続していきます。



取組を始めた動機・課題

きっかけは、2011年3月11日の東日本大震災、日本製紙グループの石巻工場も壊滅的な被害を受けました。新聞には被災地の状況が毎日のように掲載され、**保護者の方を失った子供たちが自分の両親宛に手紙を書いていたことに心を動かされました**。その年から有志を募り、**活動をスタート**させました。

解決に向けた具体策と成果

こういった活動の成果は自分たちでは決められません、**少なくともこの子供たちの為に力になれたのであれば、活動を続けてきた有志の励みになります**。

該当するSDGs目標
(3つまで)



困っている人を助けたい！（NPO法人日本サポートマーク普及協会）

取組の概要

ヘルプマークを始めとした病や障害者、妊婦さん、高齢者を表すマークはありましたが、サポートする側のマークがありませんでした。これでは、いくらハード面がダイバーシティに対応してもソフト面が充実していなければ意味を無くしてしまいます。



取組を始めた動機・課題

助けて欲しい人と助けたい人をマッチングするアイテムの必要性を感じてサポートマークを作りました。当事者発信のマークと健常者側発信のサポートマークで、助け合いの見える化をしたいと考えています。

解決に向けた具体策と成果

2024.04.01施行の障害者差別解消法が改正され、「合理的配慮の義務化」を事業者は課せられました。ソフト面の向上無くしては、合理的配慮は出来ません。サポートマークを使った配慮を事業者の皆様と共に実践していきたいと思えます。

該当するSDGs目標
(3つまで)



地域で育てる繋がりと安心して暮らせる街の創造 （橋本商店街協同組合）

取組の概要

引きこもりの経験や対人コミュニケーション不足が、働く事に対して悩みの種となってしまった若者の職業的自立を支援する機関「NPO法人さがみはら若者サポートステーション」と連携し、商店街事務局の事務補助並びにイベント運営の補助として3ヶ月程度の職業トレーニングを実施している。



取組を始めた動機・課題

加盟店の多くは常に**人材不足**である為、引きこもり経験者が実際に働いている姿をみてもらい『引きこもり=悪い』という**イメージを撤廃**し多様な若者の実態並びに**雇用対象者になり得る事**を理解して貰い、職トレ体験者には**人生にはやり直しがきく事、学歴や職歴より人柄を重視する世界がある事**を認知頂いた。

解決に向けた具体策と成果

双方の**偏見が取り払われた事**で職トレ修了者約30名のうち**6名**が加盟店に就職、それ以外の修了者も他の会社に就職等している。ビハインドを背負ってしまった若者の働きがい創出・地域経済の一助になり商店街が地域社会の一員として、団体・企業と連携して**持続的に課題解決に取り組むケースが増えた。**

該当するSDGs目標
(3つまで)



「印刷しながら脱炭素」で皆さまのSDGs活動をサポートしています (原貿易株式会社)

取組の概要

リユーストナーカートリッジは脱炭素・プラ削減ができる、SDGsに役立つ製品です。当社は「印刷しながら脱炭素」を合言葉に、リユーストナーカートリッジの利用を促進する活動を行っており、賛同してくださるご利用者様にステッカーを進呈し、皆さまの活動を応援・サポートしています。

取組を始めた動機・課題

リユーストナーカートリッジを使い脱炭素やSDGs活動を行っている企業・団体の情報発信のお手伝いをしたい、またリユーストナーカートリッジをもっと広めたいという点で、**脱炭素・SDGs活動をわかりやすく効果的にアピール**する方法が必要でした。

解決に向けた具体策と成果

脱炭素・SDGs活動において、情報発信はとても大事です。ステッカーを貼ることで、**可視化しづらい活動内容をアピール**することができ、ご利用者様に喜んでいただいています。今後さらに賛同いただける企業・団体を増やし、取り組みを加速したいと考えています。



該当するSDGs目標
(3つまで)



子ども食堂での食育活動（株式会社ファンケル）

取組の概要

ファンケルは、神奈川県や子ども食堂と連携し、子どもや子どもを取り巻く地域の方へ向け、当社で販売している発芽米・青汁を活用した食育活動を2023年5月から実施しています。食育を通じて、将来に向けた健やかな身体づくりや未病の改善など社会課題の解決への貢献につなげることを目指しています。



取組を始めた動機・課題

神奈川県主催「かながわSDGsパートナーミーティング」に参加し、子ども食堂の方々とのご縁ができたことで協働が決められました。1社でできることには限りがあるので、今後も県やNPO団体と連携し、さまざまな子ども食堂で食育活動を実施してまいります。

解決に向けた具体策と成果

NPO法人コドモノトナリ、認定NPO法人あっちこっちと定期的に食育講座を実施し現在50名以上が参加。「毎日の食事できちんと栄養をとることが大切だと分かった。」「野菜を積極的に摂ろうと感じた。」などの声があがっています。社会課題が大きい沖縄県でも並行して取り組みを進めており、今後も継続して参ります。

該当するSDGs目標
(3つまで)



健康生活から良い「モノ」をつくりだす（株式会社 深沢製作所）

取組の概要

- ①次亜塩素酸水生成装置、同水の噴霧と空気清浄機の設置で工場内の空間除菌と5Sの実施。
- ②社員食堂で栄養バランスの取れたメニューとメタボ対策食を提供する食堂にグレードアップ。
- ③トレーニングルームで社外講師によるストレッチ、腰痛対策等の個人別運動指導の開始と体調管理ボードの設置。



取組を始めた動機・課題

弊社はNC板金メーカー初のCPK \geq 1.33を品質目標に掲げた為、社員が病気で休まない、経験豊富な高齢者が永く加工ノウハウを活かせる環境整備が必要と考えたことが動機となりました。

課題は、健康維持、感染症対策、生活習慣病の改善、日々の軽運動で足腰力の維持・強化としました。

解決に向けた具体策と成果

次亜塩素酸水生成装置、空気清浄機の設置と同水の持帰り推奨。昼食にメタボ対策食提供、トレーニングルームに社外講師導入。体調管理ボードで、体調心調不良者に無理な作業を行わせない人員配置、生産管理を実施で、職場・家庭内感染ゼロ、健康診断結果は要改善21人(昨年)から5人に減少、不良率減少と効果絶大です。

該当するSDGs目標
(3つまで)



近所のアメリカ人の方に障がいのある社員に英語を教えに来て頂きコミュニケーション力UPグローバル精神の醸成を目指しています。 (富士ソフト企画株式会社)

取組の概要

毎月近所のアメリカ人の先生に来て頂き障がいのある社員に英語を教えています。特別支援学校で以前はあまり英語に接したことがなかった社員も新鮮に取り組むことが出来る。社員の成長や知識欲を満ち海外の方の名刺の受注やデータ入力時に戸惑うことが少なくなる効果も期待出来る。



取組を始めた動機・課題

自己表現や自己発信やコミュニケーションが苦手な社員もいたので、コミュニケーション力の強化や海外の方が見学に来た時に英語でご挨拶が出来る様に開始。アメリカ人の先生のネイティブ英語に刺激を受ける。知的障がいの社員が多く参加。司会は精神障がい。

解決に向けた具体策と成果

大船本社で開始したところ好評で桜木町の職場でも開催。視覚障がいのヘルスキーパーの社員も参加。海外の親会社の社員があんまマッサージの施術を受けに来た時、英語でご挨拶が出来る。各自の自己発信力も高まり毎月楽しみに参加。

該当するSDGs目標
(3つまで)



母屋カフェ 心・身体・社会の健康を考える（株式会社富士通ゼネラル）

取組の概要

昨年度から、産学官民が健康について議論する場を設けています。昨年度は「女性の健康について」、本年度は「心・身体・社会の健康」を考え、「高津区の住みやすい街づくり」に向けて古民家を利用して議論しました。



取組を始めた動機・課題

健康経営産学連携プロジェクトに参加した学生メンバーが「官民を巻き込んだ施策ができないか」と当社に相談があったことがきっかけです。企業だけでは解決できる課題ではなく、産学官民の意見や考え方に触れる機会が必要であること認識していた為、当社がハブとなり実現しました。

解決に向けた具体策と成果

産学官民がワークショップ形式で議論する場を設ける事で、コミュニケーションが活性化しました。参加者同士で率直な意見を交換することができ、それぞれが取組むべき課題が明確となりました。現在、当社では社会の健康の重要性について社内のみならず、社外にも発信しております。定期的な開催ができるように取り組みます。

該当するSDGs目標
(3つまで)



準絶滅危惧種エビネの保全活動（株式会社富士通ゼネラル）

取組の概要

当社では2017年から、エビネの保全活動をおこなっています。野草愛好家による盗掘等により、数が激減しており、環境省のレッドリストでは、神奈川県準絶滅危惧種に指定されています。本社近隣で発見したエビネについて、高津区役所と連携・協力して保全活動を継続しています。



取組を始めた動機・課題

高津区では環境への取り組みである「エコシティたかつ」を推進しています。同事業の協賛企業で趣旨に賛同した当社が協力することになったことがきっかけです。安全な場所にて温度、湿度、天候などに配慮して、限られた社員で飼育を行い、絶滅を回避する保全活動を継続しています。

解決に向けた具体策と成果

本社近隣で発見したエビネを5株から保全飼育を開始しました。現在では株分けを行い、20株に増やすことに成功しております。また、増やした株は元の生息地に返還したり、川崎市内の小学校や高校に保全活動を依頼しています。

該当するSDGs目標
(3つまで)



地域連携による次世代教育（株式会社富士通ゼネラル）

取組の概要

川崎市立末長小学校へ各学年へ年1回以上出前授業などの連携を行っています。海外とオンラインで繋いで現地人との国際交流、エアコンに関する簡易実験、エアコン解体体験、実業団水泳選手による水泳授業、支援級父兄対象の障がい者雇用現場見学会など費用をかけず既存の人材・コンテンツを活用しています。



取組を始めた動機・課題

理系離れ、ものづくり体験が少なくなる中で次世代教育を行いものづくりは「楽しい」としてもらい、ものづくりに興味を持つ子ども達を増やしたいという思いで始めました。

解決に向けた具体策と成果

子ども達や教員から感謝され地域貢献に繋がっています。また子ども達へ教えるという通常業務で体験することが出来ないことが若手社員への教育にも繋がっています。他校への展開には社内の更なる協力体制を構築していく必要があると考えています。

該当するSDGs目標
(3つまで)



学生と健康経営を考える「健康経営論」（株式会社 富士通ゼネラル）

取組の概要

「いきいき、わくわくする神奈川大学経営学部とは？それに近づくには何をするか？」をテーマに神奈川大学健康経営論の授業の一環としてワールドカフェを開催しました。参加した学生が対面での開催、議論を通じ、学生生活がより有意義なものとなるよう、意見交換、コミュニケーションが取れる場を設けました。



取組を始めた動機・課題

当社の企業理念の実践として進めている「サステナブル経営」の推進に於いて、健康経営は1つの柱となっており、当社従業員のみならず、産学官一体となった取組みにも貢献できること、いきいきとした社会づくりに繋がると考えたからです。

解決に向けた具体策と成果

未来を担う学生達に、ワールドカフェ(ワークショップ)形式で議論する場を設ける事で、コミュニケーションの活性化を促しました。テーマに沿った内容の意見を共有してもらう事で、個々の意見の発信、共感、協調の重要性を理解し、問題解決の方法を学んでもらいました。当社からも教育面で社会貢献が出来たと考えています。

該当するSDGs目標
(3つまで)



脱炭素x健康 ワークショップの開催（株式会社 富士通ゼネラル）

取組の概要

～「しあわせ」（脱炭素×健康）な未来を共創していくため～をテーマとして、川崎市と共に地域企業・大学生の皆様と議論する場を設けました。各々が抱えるテーマを自由な雰囲気話し合える様、カフェにいる雰囲気健康と脱炭素の重要性についてグループディスカッションし、発表を行いました。



取組を始めた動機・課題

健康、脱炭素社会の実現という目標について、行政、地域企業、学生の皆様が共通課題として捉え、一体となった行動変容を促すことで、“理想の街づくり”を実現出来るものと考えたからです。

解決に向けた具体策と成果

普段の生活の中で健康、脱炭素に対し意識している内容や疑問をそれぞれが認識していました。しかし、話す機会が無ければ行動変容に結び付きません。議論する機会を設けたことで、意見が飛び交い、当社を通じて課題を認識し、各々が持ちかえる事ができました。

該当するSDGs目標
(3つまで)



子ども達へ最新IT技術の体験型キャリア授業を実施！（株式会社ProVision）

取組の概要

横浜市内の中学校や県外のフリースクールを対象に、最新技術であるAR（拡張現実）を題材にした体験型の授業を実施。授業は子どもに身近なSNSを使ったAR体験や小中学生に流行しているRobloxのVR（仮想現実）体験をメインに、**子どもたちの将来のキャリアの選択肢を増やす目的**で行われた。



取組を始めた動機・課題

私立、公立、不登校など、子ども達のいる環境は多様化する中で、新規事業として始めたARは子どもにとって身近かつ興味関心も高い分野であると考えた為。今後更なる発展を見せるITに幼少期から触れることで、将来的なIT人材育成と多様なキャリア形成を期待した。

解決に向けた具体策と成果

SNSや普段使用するスマホを通じてAR体験を行ったことで、日常にもITが存在することを実感でき、子ども達のIT業界やAR・VRなどの最新技術に対する興味が非常に高まったように見られた。今後も様々な教育機関に向けて、キャリア教育を提供していく。

該当するSDGs目標
(3つまで)



社内BBQイベントでのSDGs啓蒙グッズ配布でSDGsへの意識向上！ (株式会社ProVision)

取組の概要

社員へのSDGs啓蒙と食べ残し削減を目的に、社員向けBBQイベントでSDGs啓蒙チラシとフードロス対策食品を配布。チラシにはSDGsについての基礎知識やすぐにできる活動として食べ残し0を記載し、SDGs意識の向上を図った。フードロス対策食品は賞味期限間近のお菓子や食品を選定し配布した。



取組を始めた動機・課題

毎年開催している社内BBQイベントでの食べ残しが多いことが問題視されていたため。また、SDGsに貢献するためには、会社として大きな取り組みを行うことに加え、社員一人一人の日常での小さな行動の積み重ねが大切であると考えたため。

解決に向けた具体策と成果

イベントに参加した社員約250人に対し、SDGsの必要性を伝えるグッズを配布したことで意識向上が見られ、イベント中でも食べ残しを減らすための声かけや動きが増えた。今後はSDGs活動の浸透を目的に、社内SNSでのSDGsに関する情報を定期発信していく。

該当するSDGs目標
(3つまで)



取引関係書類の完全ペーパーレス化に向けた取組 (ベストサイン・ジャパン株式会社)

取組の概要

温暖化ガス削減、森林保護に寄与すべく、契約書、請求書、領収書等取引関連書類を全て電子化し紙の利用をゼロにする取り組みを実施しています。また、これにより紙書類の作成、送付、管理に関わる単純作業を削減し、より生産的な活動に充てる時間を増やすことにも繋がっています。

取組を始めた動機・課題

海外諸国に比べ日本のDX化は大きく遅れています。一方、隣国中国では大手グローバル企業等が大胆なDX化により、環境保護への貢献と事業の合理化・高速化を推し進めています。日本も他国に遅れることなく環境問題への貢献と企業の国際的な競争力強化を進めるべきと考えています。

解決に向けた具体策と成果

弊社が発送する契約書、請求書等の書類は全て電子化し紙の利用を廃止。また、製造業の弊社ユーザーが、既存の手法・サービスでは電子化出来なかった中国企業との契約書(年間約2,000件)を弊社サービスによって全て電子化頂くことになりました。

カーボンニュートラルに向けて
ベストサイン・ジャパンはお客様と共に行動しています

契約書・取引関係書類を紙からデジタルに置き換えることによる環境保護



紙の節約



樹木の保全



森林面積減少の
抑制



二酸化炭素
排出量の削減

該当するSDGs目標
(3つまで)



親子が対等な立場で話し合えるワークショップ（合同会社Magical Grow）

取組の概要

親子参加型のワークショップにて、SDGsの本質をゲームを通じて体験する。その体験からSDGsのために、自らが取り組みたい行動を考える。レゴ®シリアスプレイ®メソッドを活用した『レゴで作品を作り、作品を通じてお互いが対等の関係で対話をする』ことで今日からのアクションを宣言する。



取組を始めた動機・課題

SDGsについては、学校でも学ぶが、いざ自分の行動としては何をしたら良いかわからない人は多い。また、親子参加型のイベントでは、親子の関係があり、お互いの本音で語ることが難しいことがある。講座もその場で体感させることはできるが、次のアクションにつなげにくい。

解決に向けた具体策と成果

どの年齢層や階層にも 全て自身が作った「作品」を通じ、親子から個人と個人の対話ができ本質的な対話を可能にし、取り組む内容がより具体化した。相手の目を見ず、作品を見て対話をすることで、対等な関係が生まれ、多くの質問を互いにすることで、深い気づきの時間となった。

該当するSDGs目標



飛沫防止パネルの再資源化（緑川化成工業株式会社）

取組の概要

- ・資源循環を目的に、ご不要になった飛沫防止板、飛沫感染防止パネル・パーテーションの回収を行っています。
- ・通常、処分する際は産業廃棄物として業者で回収されますが、アクリルパネルは単層素材でできており、リサイクルが可能であり、当社ではエコマークを取得した唯一、国内生産のアクリル板であるリアライト®を製造・販売しています。

取組を始めた動機・課題

感染症の流行時に大量に市場に出回ったアクリルパーテーションは、いずれ多くのお客様が処分に困られることが予見できていました。販売する側として一方通行ではなく、回収して再資源化することが携わる者の役目だと思いました。

解決に向けた具体策と成果

飛沫防止パーテーション回収の取り組みが、経済産業省及び環境省より『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』に基づく自主回収・再資源化事業計画の第1号認定を受け、現在全国で飛沫防止板を回収中。またそれに伴う再資源化についても推進しています。



該当するSDGs目標
(3つまで)



心臓リハビリテーションハイキング×清掃活動で健康増進と環境保全に貢献 (公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院)

取組の概要

当院では心臓病の患者さんが病気を克服し、より気軽に楽しく健康が維持できるように、循環器内科医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、医療相談員、事務職が一丸となり心臓リハビリテーションハイキングを開催しています。ハイキングゴール地では管理栄養士による栄養指導教室を開催したり、参加者と清掃活動を行ったりしています。あらゆる年齢のすべての人々が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、そして長く住み続けられる街づくりに取り組んでいます。

取組を始めた動機・課題

心臓リハビリテーションは心臓病を有する人の生活の質改善と生命予後を伸ばす効果があります。2004年から運動療法におけるモチベーション向上のためにハイキングやゴルフ等のスポーツイベントを多職種で企画し、今年で19年目を迎えました。「Exercise is Medicine.」を合言葉に各職種が専門性を発揮し、豊かな人生を送っていただけるよう力を尽くしています。

解決に向けた具体策と成果

ハイキング後のアンケートでは「自身の健康状況を確認できる機会になった」、「適度なハイキングで運動不足が解消でき、引き続き体力づくりをしたい」等の高い効果を感じられる感想が毎回多くあり、多職種での継続的な健康増進支援を達成しています。



Exercise is Medicine !



該当するSDGs目標
(3つまで)



本格的な農業の生産活動に寄与する『農福連携』（JA横浜）

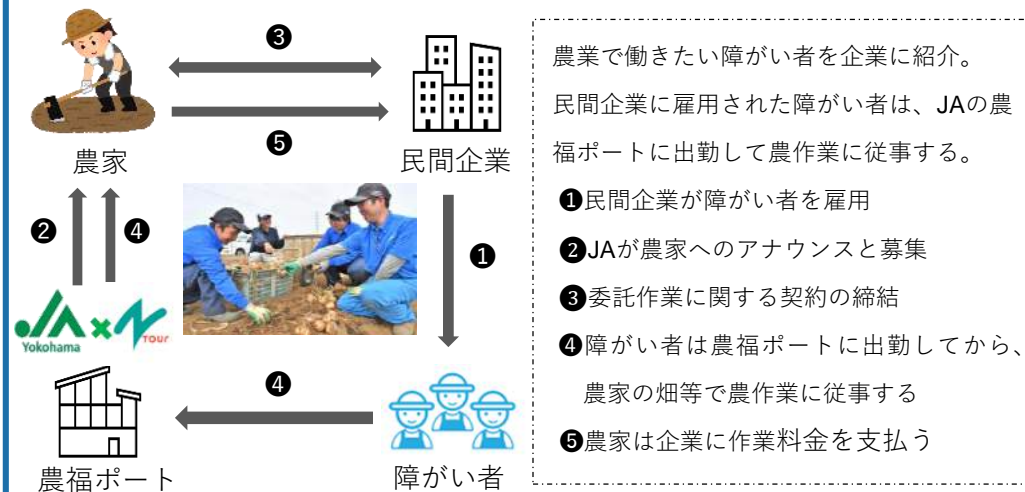
取組の概要

障がい者3名とサポーター(健常者)1人でチームを組み販売に資する農作業を担う。(株)農協観光と連携し、農業分野での『生きがい』『やりがい』を通じた障がい者の社会参画を進め、農家が抱える労働力不足などの課題解決に向けた持続可能な農業経営を実現するため、令和5年度から農福連携施策を開始。

取組を始めた動機・課題

横浜市は、住宅地と農地が隣接する都市型農業として発展しているが、農業の労働力不足が課題で当JA約3,000軒の農家から、農福連携に対する大きな期待がある。このような背景の中、働きたい障がい者と人手不足の農家を繋げる農福連携を目指し、(株)農協観光と連携して活動を開始した。

<JA横浜の農福連携体系図>



解決に向けた具体策と成果

農家と連携した農業生産に直接寄与する農福連携の運用モデルを進めている。毎週木曜日に、横浜市庁舎で農福連携をテーマにした販売コーナーを設け“農福連携×地産地消”を普及している。今後5年以内に、障がい者100名の雇用を確保し、農福連携による遊休農地の減少と農産物の付加価値創出による農家の所得増加を目指す。

該当するSDGs目標
(3つまで)



横浜産農畜産物の『「もったいない」を「美味しい！」に』（JA横浜）

取組の概要

- みつ症という生理障害によって販売できない横浜の梨“浜なし”が「もったいない」。
- 使っていない市内の遊休農地が「もったいない」。
- そんな職員の思いから、JA横浜オリジナルSDGs商品を開発し新たな「美味しい」が誕生した。

【↓遊休農地でJA職員が栽培】



【↓規格外品】



加工して活用
(JA横浜オリジナルSDGs商品)



取組を始めた動機・課題

- 「遊休農地×規格外品×地産地消」といった横浜のストーリーをお客様に届けたい！という想いと、企業と連携して横浜産農畜産物をもっと広めたい！という職員の思いから『「もったいない」を「美味しい！」に』をコンセプトに商品を開発。

解決に向けた具体策と成果

JA横浜オリジナルSDGs商品（左記写真）

- ①“やるJAんカレー”（規格外の浜なしと横浜産のたまねぎや豚肉を使用）
- ②牛乳で作る簡単デザート“ふるふる”（規格外の浜なしと遊休農地で栽培したメロンを使用）
- ③横浜産の“ふぞろいらっきょう”

該当するSDGs目標
(3つまで)



規格外野菜の専門直売『やるJAんマルシェ』（JA横浜）

取組の概要

■SDGsに特化した専門直売『やるJAんマルシェ』を開催。規格外となり市場に出荷できない横浜産農産物を当JAが買取ることによってフードロス削減に取り組む。他企業や行政が主催するイベント等への出店を主として企業・行政と連携している。横浜農業のPRの場として地産地消の促進にも取り組む。

【規格外野菜】



マルシェで販売



【カゴに盛り付けた規格外野菜をそのまま販売↑】

取組を始めた動機・課題

■色やカタチ・大きさが違うだけで、新鮮で美味しい横浜の野菜。SDGsの取り組みと横浜産農産物のPRや地産地消促進に活かしたいという思いから令和4年度にスタート。市場や直売所に一般流通できない農産物を集荷して販売することで、規格外野菜の廃棄量を減らし、地域と生産農家の経済力に還元する。

解決に向けた具体策と成果

■他企業や行政との連携を交えながら1年で8回開催したマルシェの総来場者数は約1,400人で、農産物の廃棄量削減効果は約450コンテナ。マルシェを通じた横浜産農畜産物の普及拡大や地産地消の促進にも寄与した。さらに、来場者のマルシェにかかるInstagram投稿（感想/料理写真）も農家のチカラとなった。

該当するSDGs目標
(3つまで)



地域住民及び商店と連携して行う地域活性化イベント (株式会社ライブフュージョンホールディングス)

取組の概要

地元企業・団体と連携して、街の活性化を図る為に、**2023年10月14日**に「さくら並木まつり」を開催。
弊社はグループの垣根を越えて、スノードーム制作ブース・地域の方が健康になるようストレッチ講座・障がい者就労支援として駄菓子屋を出店。

取組を始めた動機・課題

商店街が解散し、スーパーも閉店してしまった為、
活気がなくなってしまった街。
なんとかもう一度活気がある街にと、弊社が声掛けをし、**2017年**より「さくら並木まつり」を開催する。

解決に向けた具体策と成果

弊社だけでは運営が難しいので、周りの商店や地域の団体・住民と協力して開催。
その結果、**1000人**が集まる規模のお祭りとなり、海老名市長も参加。
一社一グループじゃできないけど、みんなで協力すれば実現が可能という事を実感。



該当するSDGs目標
(3つまで)



従業員のサステナビリティ・リテラシー向上（税理士法人りんく）

取組の概要

- 1) 従業員向けに定期的な研修を行う
- 2) エコキャップ運動
- 3) ペーパーレス化の推進（不要な紙保管の廃止）
- 4) かながわSDGsパートナー以外にも、さがみはらSDGsパートナー、SDGsさがみはらエコ宣言に登録
- 5) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定



取組を始めた動機・課題

当法人は従来よりお客様である中小企業の生産性向上に寄与することを事業ドメインに掲げておりましたが、自社内で行っているSDGsの取組み（従業員のサステナビリティ・リテラシー向上含め）をHP等で継続的に情報発信することで、地域の中小企業がSDGsに取り組むアクションの契機となることを願い、取組みを開始しました。

解決に向けた具体策と成果

- 1) 年1回以上のSDGs全社研修（ワーク）を3年継続中
- 2) エコキャップ 3,010個（※ワチン3.5人分）以上回収（スタッフが自宅から自主的に持参してくれることもありました！）
- 3) 1年でA4約13,160枚以上（コピー用紙26.3包分）削減
- 4) 各登録を行い社内掲示することでリテラシー向上を狙う
- 5) 女性の活躍推進企業データベースへ企業データ公表

該当するSDGs目標
(3つまで)



食品ロス削減国民運動（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

農林水産省、食べ残しゼロへの呼びかけ『**食品ロス削減国民運動**（NO-FOODLOSS PROJECT）』への参加。出来るだけ、お客様が食べきれ的分を提供することを意識しています。

取組を始めた動機・課題

世界の食料の3分の1にあたる約13億トンが毎年捨てられています。ホテルレストランでも食べ残し、取り残しが日々大量に発生しています。



解決に向けた具体策と成果

日本料理「四季」では、注文時に苦手なもの、アレルギーの対応、ご飯の量など調整が出来、食べ残しが減るよう取り組んでいます。バイキングレストランでは過度な盛り付けは止め、お客様にも食べきれ分だけをお取りいただくよう呼びかけています。

該当するSDGs目標
(3つまで)



環境にやさしいホテルを目指して（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

- ・ 客室アメニティを廃止し、**バイキング形式**に変更
- ・ **ECOプラン**の導入（ノーマイカープランなど）
- ・ シャワーに節水機器を導入
- ・ 湯船に湯量適量値を示し、**節水**の呼びかけ
- ・ トイレットペーパー使い切りご協力のお願い 等



取組を始めた動機・課題

日々ホテルから出る大量の客室ごみ、使い捨てアメニティゴミを何とかしたいと思い、スタートしました。シティホテルとして、アメニティをバイキング形式にすることに対し、当初は不安と抵抗もありました。

解決に向けた具体策と成果

取組後、アメニティの使用率を下げることに成功しています。当初お客様の反応を心配しておりましたが、趣旨をお伝えすることで、多くの方に受け入れていただいております。今後、より環境に優しい素材でできたアメニティを取り入れていく予定です。

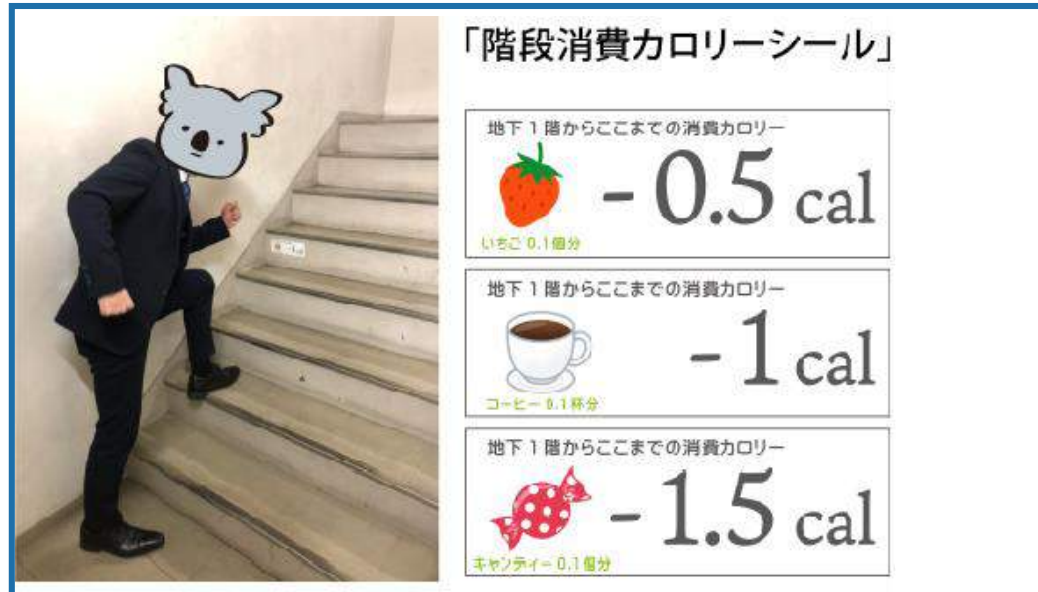
該当するSDGs目標
(3つまで)



従業員とSDGsのつながり（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

従業員がSDGsを理解し、身近に感じることが出来るよう、**社内SDGs通信**を月1度配信、**社内SDGsポスター**、**階段を使おうステッカー**など、従業員の目につくところに掲示しています。下の画像はエクササイズ感覚で階段を使ってもらえるよう作成した「階段消費カロリーシール」です。



取組を始めた動機・課題

会社として、SDGsに取り組む上で、従業員の協力は不可欠です。まずは身近なところからSDGsとはなんなのか、自分たちに何が出来るのかを知ってもらおうきっかけ作りを始めました。

解決に向けた具体策と成果

社内SDGs通信やポスター掲示により、「階段を使うようにしました」「マイボトルを持ち歩くようにしました」など、アクションを起こしている従業員が見受けられるようになりました。

該当するSDGs目標
(3つまで)



食事を分かち合う（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

あなたがヘルシーメニューを1回食べることで、世界の誰かが給食1回食べられるという世界の新しいしくみ『TABLE FOR TWO』に賛同し、ホテル内日本料理「四季」では対象メニューを注文ごとに、**20円（開発途上国の給食1食分）**を寄付しています。



取組を始めた動機・課題

世界の人口約70億人のうち、8億人が飢えに喘ぐ一方で、20億人が肥満などの食に起因する生活習慣病に苦しんでいます。この深刻な食の不均衡を解消するため活動している『TABLE FOR TWO』を支援するため、スタートしました。

解決に向けた具体策と成果

2021年10月からスタートし、これまでに給食3,374食分67,480円のご寄付が集まりました。（2023.10月時点）

該当するSDGs目標
(3つまで)



3分別リサイクルボックスの設置（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

貴重な資源となるペットボトルの、より良いリサイクルの為に、**3分別（PETボトル、ラベル、キャップ）のリサイクルボックス**をホテルの自動販売機コーナーに設置いたしました。



取組を始めた動機・課題

海洋プラスチックをはじめ、世界中で問題となっているプラスチックの利用と処理について、まずは気づいてもらうことから始めようと思い、設置しました。

解決に向けた具体策と成果

3分別を徹底することは、ペットボトルをもう一度ペットボトルとしてリサイクルする過程への第一歩となります。ひと手間となりますが、ご協力してくださっている方も多く見受けられます。今後も、**ペットボトルはゴミではなく、資源である**ことを知ってもらうきっかけになればと思います。

該当するSDGs目標
(3つまで)



NGO、NPOの応援募金箱の設置（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

環境保全、動物愛護、貧困、テロの解決を目指し、国内外で活躍するNGO,NPOを支援するため、ホテルロビーに**募金箱を設置**しています。お金を入れると人や動物が受け取ってくれるオリジナルデザインで作成しました。※現在は赤十字を通してウクライナ人道危機救援金の募金箱も設置しています。



取組を始めた動機・課題

一企業として出来ることは限られていますが、現地で活動している人々を応援することは出来ると考え、彼らの活動を知ってもらう、支援してもらうことを目的として募金箱を設置することといたしました。

解決に向けた具体策と成果

少額ずつではありますが、継続して設置をして行くことで、長期的な支援となり、多くの方に見ていただいております。2023年10月末時点で、合計141,734円の寄付が集まりました。（2023.10月時点）

該当するSDGs目標
(3つまで)



親子SDGs体験教室開催（レンブラントホテル海老名）

取組の概要

親子で楽しめるSDGs体験イベントとして「竹箸作り」「動物性食材不使用のお菓子作り」「門松作り」などのイベントを年に数回行っております。ミニ講座と体験、ホテルのバイキングがセットとなり、森林伐採や海洋プラスチックの問題を、楽しみながら学んでいただけます。



取組を始めた動機・課題

竹林整備の知識を持ったスタッフが、「竹」を通して、森林伐採などの環境問題を大人にも子どもにも学んでもらえる機会を作りたいと考え、企画がスタートしました。ホテル敷地内の庭園にある増えすぎた竹を有効利用しています。

解決に向けた具体策と成果

参加者の方々からは楽しんで学ぶことが出来た！とご好評をいただいております。募集開始後すぐに満席となるため、SDGs関連のイベントは需要があるのだと感じています。今後も環境問題を考えるきっかけとなるイベントを開催していきたいと思っております。

該当するSDGs目標
(3つまで)

